



平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年4月28日

上場会社名 東京都競馬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9672 URL <http://www.tokyotokeiba.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山口 一久
 問合せ先責任者 (役職名)財務部長 (氏名)江口 真司 (TEL)03(5767)9731
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績(平成27年1月1日~平成27年3月31日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	3,694	9.3	637	144.7	621	157.0	355	—
26年12月期第1四半期	3,380	9.9	260	160.0	241	150.6	△29	—

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 404百万円 (—%) 26年12月期第1四半期 △131百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	1.24	—
26年12月期第1四半期	△0.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第1四半期	76,388	53,250	69.7
26年12月期	77,700	53,564	68.9

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 53,250百万円 26年12月期 53,564百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	1.50	—	2.50	4.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	1.50	—	1.50	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日~平成27年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,553	5.5	1,062	2.4	1,040	1.6	745	91.2	2.61
通期	18,288	2.7	4,095	△5.4	4,046	△5.9	2,080	13.6	7.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年12月期1Q	287,648,547株	26年12月期	287,648,547株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

27年12月期1Q	1,870,048株	26年12月期	1,860,659株
-----------	------------	---------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年12月期1Q	285,782,976株	26年12月期1Q	285,827,944株
-----------	--------------	-----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページから3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績の概況

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、南関東4競馬場の新在宅投票システム(SPAT4)において昨年より実施した地方競馬の全レース発売や新賭式導入などにより、売上高は3,694百万円(前年同期比9.3%増)、営業利益は637百万円(同144.7%増)、経常利益は621百万円(同157.0%増)、四半期純利益は355百万円(前年同期は四半期純損失29百万円)となりました。

なお、当社グループの遊園地事業は、屋外プール営業期間中(夏季)に年間入場者の大半を集客することから、通年の業績のうち第3四半期連結会計期間における売上高及び売上原価の占める割合が著しく高い傾向にあります。

②事業別の概況

セグメントごとの業績は、次のとおりです。

区 分	売上高		セグメント利益又は セグメント損失(△)	
	金額(百万円)	前年増減比	金額(百万円)	前年増減比
公営競技事業	2,072	17.3%	490	467.7%
遊園地事業	138	14.7%	△352	—
倉庫賃貸事業	1,133	△0.5%	670	△8.4%
サービス事業	360	△0.9%	84	9.3%
セグメント間取引の消去等	△10	—	△255	—
合計	3,694	9.3%	637	144.7%

[公営競技事業]

大井競馬は20日開催され、前年同期と比べ開催日数は2日減少いたしました。

また、浦和競馬、船橋競馬、川崎競馬の大井場外発売は計43日、その他各地方競馬の広域大井場外発売が144レース実施されました。

この間、昨年構築を完了した南関東4競馬場の新在宅投票システム(SPAT4)による地方競馬の全レース発売や新賭式「SPAT4 LOTO トリプル馬単」の導入効果などにより売上が増加いたしました。また、投票金額に応じて一定のポイントを付与する「SPAT4プレミアムポイント」につきましても、昨年3月の導入より1周年を迎えたことから、主催者及び関係団体と協力して「1周年記念キャンペーン」等を実施し、さらなる勝馬投票券の売上増加並びにファンサービスの向上に取り組みしました。

なお、大井競馬場リニューアル計画に基づく新スタンドの建設につきましては、本年10月の竣工に向け、順調に建設工事を進めております。

伊勢崎オートレースは14日開催され、前年同期と比べ開催日数は8日減少いたしました。

また、川口オートレース他4場の伊勢崎場外発売は延べ65日実施されました。

この間、開催日数の減少などにより、伊勢崎オートレースの売上は減少いたしました。伊勢崎オートレース場内において当社が運営業務を受託する大井競馬専用場外発売所「オフ伊勢崎」、また、同施設内にて中央競馬の勝馬投票券発売を行う「J-PLACE伊勢崎」につきましては、来場者及び売上ともに順調に推移いたしました。

以上の結果、公営競技事業の売上高は2,072百万円(前年同期比17.3%増)、セグメント利益は売上高の増加に加え修理維持費の減少などにより490百万円(同467.7%増)となりました。

[遊園地事業]

遊園地事業におきましては、東京サマーランドにおいて、園内整備のため1月1日から2月28日まで休園といたしました。昨年3月に開始した太陽光発電システムによる売電事業、また、同じく3月オープンの「ゴルフパートナー東京サマーランドゴルフ練習場」開店効果に伴うゴルフ練習場利用者の増加により、売上が増加いたしました。

以上の結果、東京サマーランドの入場人員は7万人で、遊園地事業の売上高は138百万円（前年同期比14.7%増）となりましたが、夏季期間に向けた園内整備を行い、セグメント損失は352百万円（前年同期はセグメント損失379百万円）となりました。

[倉庫賃貸事業]

倉庫賃貸事業におきましては、一部倉庫で賃料の減額を行ったことにより、売上高は1,133百万円（前年同期比0.5%減）、セグメント利益は勝島地区2号倉庫の外壁塗装を実施した影響などにより670百万円（同8.4%減）となりました。

[サービス事業]

サービス事業におきましては、昨年4月に増設を行ったトランクルームの通期稼働により賃料収入が増加いたしました。コンビニエンスストアにおいて近隣に競合店がオープンした影響もあり、売上は減少いたしました。

以上の結果、売上高は360百万円（前年同期比0.9%減）、セグメント利益は宣伝広告費などの見直しを行い84百万円（同9.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,312百万円減少し、76,388百万円となりました。これは、現金及び預金が325百万円増加したのに対し、営業未収入金が1,143百万円、固定資産の減価償却等により有形固定資産が411百万円減少したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ999百万円減少し、23,137百万円となりました。これは、未払法人税等が667百万円、未払消費税等が193百万円それぞれ減少したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ313百万円減少し、53,250百万円となりました。これは、上場株式等の時価変動によりその他有価証券評価差額金が48百万円増加したのに対し、期末配当の実施等により利益剰余金が358百万円減少したことが主な要因であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の68.9%から69.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、当第1四半期の業績がおおむね計画通り推移しており、平成27年2月13日発表の数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,659,387	5,985,346
営業未収入金	2,306,721	1,163,219
有価証券	3,658,576	3,658,810
たな卸資産	78,937	86,954
繰延税金資産	115,268	202,242
その他	286,303	293,042
流動資産合計	12,105,195	11,389,615
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	21,705,741	21,428,746
建物附属設備（純額）	4,749,916	4,622,645
構築物（純額）	6,423,296	6,290,782
機械装置及び運搬具（純額）	1,806,907	1,750,090
土地	22,336,079	22,336,079
信託建物（純額）	1,727,151	1,713,528
信託建物附属設備（純額）	164,261	162,237
信託土地	2,174,126	2,174,126
その他（純額）	531,635	729,722
有形固定資産合計	61,619,117	61,207,960
無形固定資産		
ソフトウェア	702,554	665,900
施設利用権	21,380	19,898
その他	11,594	11,594
無形固定資産合計	735,529	697,393
投資その他の資産		
投資有価証券	1,515,544	1,555,785
長期前払費用	381,528	485,487
繰延税金資産	492,773	436,103
長期立替金	763,908	528,860
その他	87,342	86,981
投資その他の資産合計	3,241,097	3,093,218
固定資産合計	65,595,743	64,998,571
資産合計	77,700,939	76,388,186

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	559,412	325,315
未払金	446,987	440,148
未払法人税等	1,016,935	349,171
未払消費税等	375,197	181,694
賞与引当金	39,197	117,519
ポイント引当金	64,821	90,778
その他	538,502	597,743
流動負債合計	3,041,052	2,102,369
固定負債		
社債	17,000,000	17,000,000
長期預り金	2,192,892	2,188,191
退職給付に係る負債	1,183,894	1,159,092
資産除去債務	426,058	425,620
その他	292,784	261,944
固定負債合計	21,095,628	21,034,848
負債合計	24,136,681	23,137,218
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,586,297	10,586,297
資本剰余金	6,857,668	6,857,668
利益剰余金	36,126,864	35,768,001
自己株式	△384,902	△387,727
株主資本合計	53,185,927	52,824,239
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	378,329	426,729
その他の包括利益累計額合計	378,329	426,729
純資産合計	53,564,257	53,250,968
負債純資産合計	77,700,939	76,388,186

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	3,380,007	3,694,582
売上原価	2,746,218	2,686,138
売上総利益	633,789	1,008,444
一般管理費	373,010	370,445
営業利益	260,779	637,998
営業外収益		
受取利息	1,455	1,502
線下補償料	4,037	2,034
除斥配当金受入益	-	2,963
その他	1,482	1,768
営業外収益合計	6,975	8,268
営業外費用		
支払利息	24,882	24,364
その他	872	3
営業外費用合計	25,755	24,368
経常利益	241,999	621,899
特別利益		
補助金収入	-	9,803
特別利益合計	-	9,803
特別損失		
固定資産除却損	277,819	-
特別損失合計	277,819	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△35,819	631,702
法人税、住民税及び事業税	65,205	298,250
法人税等調整額	△71,452	△22,153
法人税等合計	△6,247	276,096
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△29,571	355,606
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△29,571	355,606

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△29,571	355,606
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△101,599	48,399
その他の包括利益合計	△101,599	48,399
四半期包括利益	△131,171	404,005
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△131,171	404,005
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公営競技 事業	遊園地事業	倉庫賃貸 事業	サービス 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,766,970	121,014	1,138,803	353,219	3,380,007	—	3,380,007
セグメント間の内部 売上高又は振替高	390	—	—	10,075	10,466	△10,466	—
計	1,767,360	121,014	1,138,803	363,295	3,390,473	△10,466	3,380,007
セグメント利益又は セグメント損失(△)	86,434	△379,031	732,521	77,099	517,024	△256,244	260,779

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△256,244千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用になります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公営競技 事業	遊園地事業	倉庫賃貸 事業	サービス 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,072,387	138,759	1,133,491	349,944	3,694,582	—	3,694,582
セグメント間の内部 売上高又は振替高	371	—	—	10,165	10,537	△10,537	—
計	2,072,758	138,759	1,133,491	360,109	3,705,119	△10,537	3,694,582
セグメント利益又は セグメント損失(△)	490,673	△352,720	670,790	84,295	893,039	△255,040	637,998

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△255,040千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用になります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。